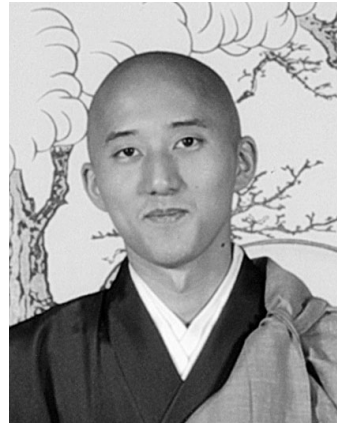


就任のごあいさつ

東光寺第三十世住職

渋谷俊成



大本山永平寺に大きな播り粉木棒がございます。その棒には身を削り、他の人の為に尽くすようにと言う意味が込められています。私も身を粉にして東光寺の為、檀信徒皆様の為日々精進して参りたいと思っております。

東光寺檀信徒皆様のご多幸と東光寺の発展をお祈り申し上げます。東光寺住職就任のご挨拶とさせていただきます。

合掌

前任の松永全隆老師には、ご多忙の中にもかかわらず九年間も東光寺の為ご尽力いただきました。今の東光寺があるのも松永全隆老師の努力の賜物であると感謝しております。

私はまだまだ力不足の事と思えますが、檀信徒皆様のご期待に添え得るよう努力して参りたいと思っております。



東光寺の近況

檀徒会会長

内田久雄



青葉の候となりました。檀徒の皆様ますます御清祥のこととお喜び申し上げます。

さて平成二十二年度となりまして、寺報を以って皆様に東光寺の近況を御報告申し上げる時季となりました。

先ず始めに東光寺御母堂様洪谷壽子様が永眠なされましたことです。突然の御不幸に御家族様はもとより親戚、私達役員一同の驚きと悲しみは言葉にはなりませんでした。

故壽子様は二十七世栄麟大和尚の長女としてお育ちになりました。当時は戦争という激動の時代でした。その激しい時代を乗り越え、東光寺をお守り下さいました。私も当時を想い起しますとき少年時代、青年時代と、ひとかたならぬお世話になりましたこと

を思い出します。東光寺のため、檀徒の皆様のため、御家族のため陰に陽にお尽くし下されました。素晴らしい女性でした。生前の御功勞を偲び謹みて御報告申し上げます。

平成二十一年七月二十六日 永眠

園鑑妙壽禪尼

次の御報告は東光寺にとりまして最も喜びの御報告でございます。

この度渋谷俊成和尚様が平成二十二年六月一日より東光寺住職に目出度く御就任なされたことでございます。心よりお喜び申し上げます。御修業後の俊成様の御成長はほげましいものでございました。役員一同心より安心致した次第でございます。檀徒の皆様にもこの寺報をもちまして御報告申し上げます。

この様にして東光寺も年々内外共に充実致して居ります。檀徒の皆様にご安心頂きたく御報告申し上げます。最後に皆様を御祈念申し上げます。御指導御協力をお願い申し上げます。